

学校における水泳プールの保健衛生管理

正誤表

ページ	章	箇所		
39	I. 水泳プールの管理	Q.7定期検査における基準と検査方法を教えてください。	「表—4—3 定期検査項目、基準及び検査方法」	項目

《誤》

表—4—3 定期検査項目、基準及び検査方法

検査事項	検査方法	判定基準
プール本体の衛生状況等	(ア) プール水は、定期的に全換水するとともに、清掃が行われていること。 (イ) 水位調整槽又は還水槽を設ける場合は、点検及び清掃を定期的に行うこと。	プール本体の構造を点検するほか、水位調整槽又は還水槽の管理状況を調べる。
浄化設備及びその管理状況	(ア) 循環浄化式の場合は、ろ材の種類、ろ過装置の容量及びその運転時間が、プール容積及び利用者数に比して十分であり、その管理が確実にされていること。 (イ) オゾン処理設備又は紫外線処理設備を設ける場合は、その管理が確実にされていること。	プールの循環ろ過器等の浄化設備及びその管理状況を調べる。
消毒設備及び管理状況	(ア) 塩素剤の種類は、次亜塩素酸ナトリウム液、次亜塩素酸カルシウム又は塩素化イソシアヌル酸のいずれかであること。 (イ) 塩素剤の注入が連続注入式である場合は、その管理が確実にされていること。	消毒設備及びその管理状況について調べる。

《正》

表—4—3 定期検査項目、基準及び検査方法

検査事項	判定基準	検査方法
プール本体の衛生状況等	(ア) プール水は、定期的に全換水するとともに、清掃が行われていること。 (イ) 水位調整槽又は還水槽を設ける場合は、点検及び清掃を定期的に行うこと。	プール本体の構造を点検するほか、水位調整槽又は還水槽の管理状況を調べる。
浄化設備及びその管理状況	(ア) 循環浄化式の場合は、ろ材の種類、ろ過装置の容量及びその運転時間が、プール容積及び利用者数に比して十分であり、その管理が確実にされていること。 (イ) オゾン処理設備又は紫外線処理設備を設ける場合は、その管理が確実にされていること。	プールの循環ろ過器等の浄化設備及びその管理状況を調べる。
消毒設備及び管理状況	(ア) 塩素剤の種類は、次亜塩素酸ナトリウム液、次亜塩素酸カルシウム又は塩素化イソシアヌル酸のいずれかであること。 (イ) 塩素剤の注入が連続注入式である場合は、その管理が確実にされていること。	消毒設備及びその管理状況について調べる。